

新刊紹介

◎考古遊記

濱田耕作著 昭和四年七月
刀江書院發行 定價三圓二十錢

考古學の泰斗濱田博士が最近數年間の旅行記である、名は考古であるけれども必しも考古の論文のみではない、支那は北京から大同雲崗への記事があり、朝鮮では慶州瑞鳳塚の發掘がしるしてあるが、北歐の旅と西佛及西班牙巡訪の考古の記事が本書の主要部分をしめる、博物館や考古の遺跡を見られた興味ふかい記事の中に地理學者の參考になることが多い流麗な記事の中に「虎子」の博識的説話があつたり「果して又意外な夏の一夜の挿話などが點綴されてゐるのは遊子四方の情を惹くに十分であると敬服せざるを得ない。挿話七十、地圖二葉、四六版二二八頁の手頃の本である。(F)

◎近畿地方地形圖

大阪北區相生町四四佐藤郷土研究所
發行二十萬分一、掛圖、定價十圓内外

縦六尺六寸、横四尺五寸の大幅である。本掛圖は熱心な民間の地圖製作家で、各府縣の地圖をかいてゐる佐藤佐平氏の獨力版であるから其定價はいかにも安い。近畿の地理を學生に教授するに當つてこれ位まとりのよいのはない。本圖は附するに人口密度圖、雨量分布圖及地質圖がある、京都大阪を中心として東は名古屋西は鳥取に至る、我國樞要の中心地區を明瞭にしたものとして著者の苦心に敬意を表する。小學

校や中學校の教室用の掛圖の中で、最近の良著として推薦すると同時に、日ならずして出版せらるゝ「東海地方地形圖」の一日も速かに世に出るやうに、本圖の賣行の良好ならんことを期待する。(藤田)

新著即報

◎世界地理行脚 寺田貞次著 古今書院發行 六月 定價一圓五〇錢

◎房州の地誌 尾崎庸四郎著 古今書院發行 七月 定價一圓

◎歴史地理 第五三卷第六號 六月

播磨國の古地圖に就いて(井上通泰)

江戸時代初期トシキン在住の日本人(岩生成一)

南攝の條理(天坊幸彦)

◎海と空 第九卷第五號 五月

日本海の安定度に關する一考察(須田皖次)

◎地方行政 第三七卷第六號 六月

大都市附近の町村の計畫(飯沼一省)

◎Proceedings of the Third Pan-Pacific Science Congress, Tokyo, 1926. Edited by the National Research Council of Japan. 2 vols. Feb. 1929.

On the tides in the seas of Eastern Asia. (S. Oguri.)